

研究班番号【 61 】
子どもとシールの関係性

家庭科班: 榊 今花夏、澤田 鈴菜

Abstract

We researched the effect of the stickers on children's mental state and their feelings towards the stickers. As a result of the questionnaire for high school students, the stickers become close to them and from the questionnaire results for children, we found that character stickers are the most popular in children. In addition, it was found that children play with them for the purpose of achievement and communication. Therefore, it was found that adults give children stickers when they face stressful events, which leads growth of them.

要約

シールとの関わりをもとに、子どもの精神状態の、シールが子どもへ与える影響と子どものシールに対する感情を調べた。高校生へのアンケート結果ではシールは子どもにとって身近だということが分かり、幼児へのアンケート結果からはキャラクターシールが1番人気であることがわかった。また、子どもは達成感やコミュニケーションを目的としてシール遊びをしていることが分かった。ここから、幼児が負荷のあるイベントに直面した時に大人がキャラクターシールを与えることにより、幼児の成長につながるということが分かった。

1. はじめに

幼少期にシールで遊んだことはあるだろうか。貼る、交換する等の様々な用途でシールは使われている。そこで、シールを子どもとの関係の構築においての着眼点とし、シールが子どもに及ぼす影響や子どもがシールで遊ぶ心情を研究することにした。

本研究では、シールが子どもに及ぼす影響や子どもがシールで遊ぶ心情はどういうものなのかを調査する。病院で吸引を行った子どもにシールを与えた結果、即時的に子どもの吸引行動への意欲が高められたという事例から、シールは子どもとの関係において重要な存在であるということが言え、シールを有効に活用すれば子どもの精神状態を推察することができるため、子どもとの良好な関係を築きあげられると考えた。

ただし、ここでいう子どもは未就学児のみとする。

2. 研究方法

《調査1》

高校生174名に対し、Googleフォームを用いてアンケート調査を行った。

質問内容

①現在シールで遊んでいるか。

②幼少期シールで遊んでいたか。

また、②で「はい」と答えた139名には下のアンケート調査を行った。

③どのようにシールを用いて遊んでいたか。(複数回答可)

④なぜシールを用いて遊んでいたのか。(複数回答可)

⑤一番好きだったシール、その理由

⑥シールを貰ったときの心情



《調査2》

園児39名に対し、アンケート調査と実験による調査を行った。

・アンケート調査

質問内容

①シールが好きか。

調査方法・・・「はい」と「いいえ」で答えさせ、「はい」の場合は挙手をさせた。

②なぜシールが好きなのか。

調査方法・・・答えたい者に口頭で答えさせた。

・実験方法

①机の上に8枚の紙皿を置き、それぞれに別の種類のシールをのせる。

②園児に別の紙皿から二種類のシールを選ばせる。

③減った枚数から園児が選んだシールの枚数を計測する。

④計測したデータを加工し、シールのそれぞれの種類での枚数を比較した。

3. 結果

《調査1》

アンケート調査の結果

図1グラフは①と②のアンケート結果を表している。

アンケート調査の結果、①の質問に対し、91.4%が「いいえ」、8.6%が「はい」と回答した。また、②の質問に対し、79.9%が「はい」、10.3%が「いいえ」、9.8%が「覚えていない」と回答した。

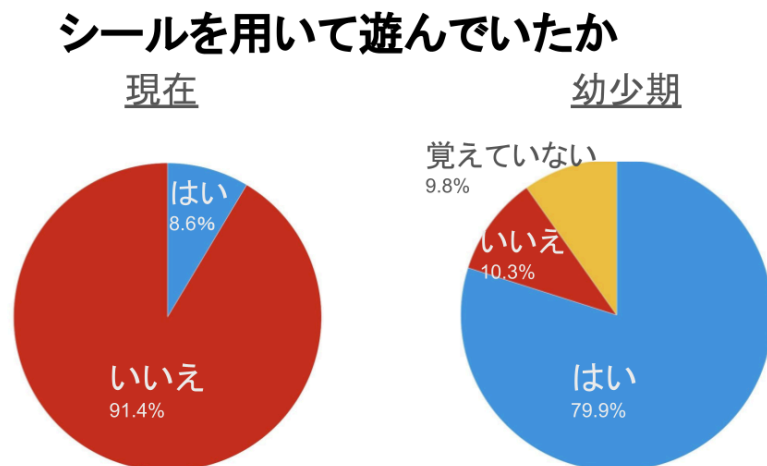


図1

③の質問では、多く得られた回答の順に、「ものに貼る」が77.7%、「シール帳に貼る」が53.2%、「交換する」が43.9%であった。この他にも、「コレクションする」や「着せ替えシールで遊ぶ」などの回答が得られた。

④の質問では、多く得られた回答の順に、「楽しいから」が69.8%、「達成感が得られるから」が15.1%、「印をつけられるから」が7.9%であった。この他にも、「かわいいから」や「好きなキャラを身近に感じられるから」などの回答が得られた。



図2

⑤の質問では、多く得られた回答の順に、「キャラクターシール」が36.4%、「ぷくぷくシール」が25%、「シャカシャカシール」が13.6%、「ウォーターシール」が10.7%であった。ここでいう「ぷくぷくシール」、「シャカシャカシール」、「ウォーターシール」は図2のようなものである。また、⑤の回答を選んだ理由は多く得られた順に、「かわいいから」が62.9%、「かっこいいから」が14.3%、「特徴的だから」が10%であった。その他にも、「落ち着くから」や「特別感があるから」などの回答を得られた。

⑥の質問では、92.9%が「嬉しい」、1.4%が「嬉しくない」、5.7%が「わからない」と回答した。

《調査2》

アンケート調査の結果

①の結果は、全体では39名中33名が「はい」と回答した。学年で分けると、年少では14名中12名、年中では12名中9名、年長では13名中12名が「はい」と回答した。

②の結果は、「かっこいいから」や、「かわいいから」また「シールに描かれるキャラクターが好き」という回答が多く寄せられた。

また、実験結果では、全体では「ポケモン」が21.5%、「アンパンマン」が、10.1%「すみっこぐらし」が21.5%、「ドラえもん」が10.1%、「ちいかわ」が8.9%、「乗り物」が13.9%、「記号」が10.1%、「動物」が3.8%であった。また、学年別でのデータを加工したところ、図3の棒グラフのようになった。

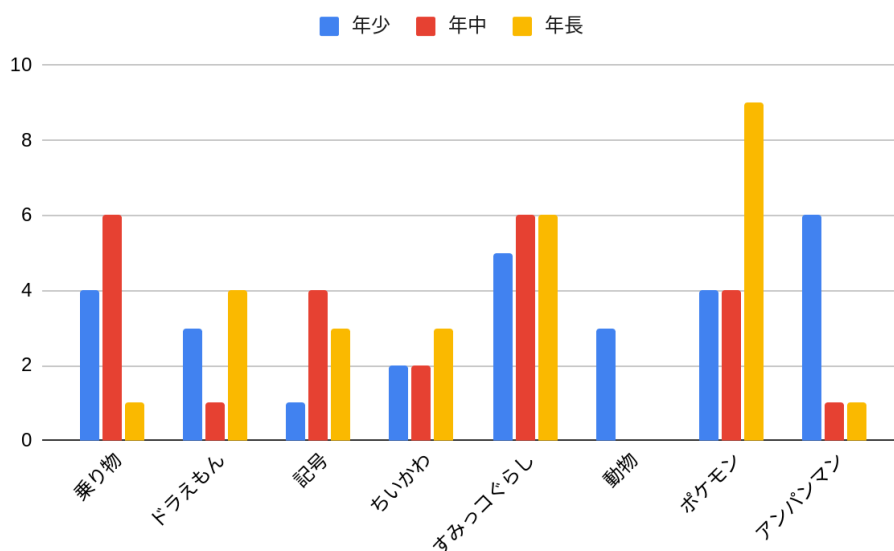


図3

4. 考察

調査1のアンケート①、②と調査2のアンケート調査①の結果から、シールは子供にとって身近であると考えられ、また子どもはシールが好きな傾向があると言える。

また、調査2の実験を円グラフ化したものが図4である。

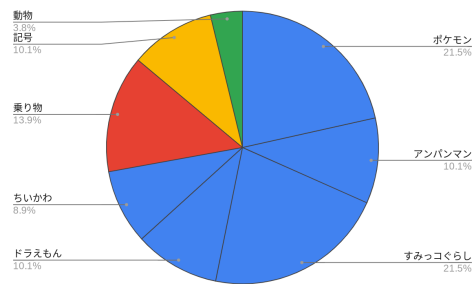


図4

調査1のアンケート⑤と調査2の実験から、キャラクターシールが1番人気である事が一致しており、キャラクターシールが子供がよく好むシールであると考えられる。

調査1の③でいちばん多かった「ものに貼る」は調査1の④で2番目に多かった「達成感を得られるから」と対応していると考えられる。また、調査1の③で3番目に多かった「交換する」は調査1の④でいちばん多かった「楽しいから」と対応していると考えられ、このことから幼児は達成感やコミュニケーションを目的としてシール遊びをしていると考えられる。

5. 結論

幼児にとってシールは、達成感やコミュニケーション力が得られるなどの成長の手助けになっており、幼児が負荷のあるイベントに直面したときに大人が幼児の好むシールを与えるとイベントを乗り越えやすくなる。しかし、試行回数が少なく、結果に偏りが出ている可能性が高いと考えられる。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

石舘 美弥子『シールを強化子とした幼児の吸入行動の強化 Reinforcement of Small Children's Inhaling Behavior by Stickers』（2006）

浅利 剛史 『「幼児の達成感」の概念分析』（2016）